

一般社団法人 National Clinical Database (NCD) の手術・治療情報データベース事業への参加について

鳥取赤十字病院

当院は、一般社団法人 National Clinical Database (NCD) が実施するデータベース事業に参加しています。

この事業は日本全国の手術・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指すプロジェクトです。

この法人における事業を通じて、患者さんにより適切な医療を提供するための医師の適正配置が検討できるだけでなく、各科が患者さんに最善の医療を提供するための参考となる情報を得ることができます。何卒趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 NCDに登録する情報の内容

各科で行われた手術と治療に関する情報、手術や治療の効果やリスクを検証するための情報（年齢や身長、体重など）を登録します。NCDに患者さんのお名前を登録することはなく、氏名とは関係のないIDを用いて登録します。IDと患者さんを結びつける対応表は各科で厳重に管理し、NCDには提供しません。

2 登録する情報の管理・結果の公表

登録する情報は、それ自体で患者さん個人を容易に特定することはできないものですが、患者さんに関わる重要な情報ですので厳重に管理いたします。

各科及びNCDでは登録する情報の管理にあたって、情報の取り扱いや安全管理に関する法令や取り決め（「個人情報保護法」等）を遵守しています。

データの公表にあたっては、NCDが承認した情報のみが集計データとして公表されます。登録するデータがどなたのものであるか特定されることはありません。

3 登録の拒否や登録情報の確認（オプトアウトについて）

データを登録されたくない場合は、登録を拒否していただくことができます。各科の主治医にお伝えください。

また、登録されたご自身のデータの閲覧や削除を希望される場合も、各科の主治医にお知らせください。

なお、登録を拒否されたり、閲覧・修正を希望されたりすることで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

4 NCD担当者の訪問による登録データ確認への協力

当院各科からNCDに登録した情報が正しいかどうかを確認するため、NCDの担当者が患者さんのカルテや診療記録を閲覧することがあります。

各科がこの調査に協力する際は、NCDの担当者と守秘義務に関する取り決めを結び、患者さんとIDの対応表や氏名など患者さんを特定する情報を院外に持ち出したり、口外したりすることは禁じます。

本事業への参加に関してご質問がある場合は、各科の主治医にお伝えください。また、より詳細な情報は下記に掲載されていますので、そちらもご覧ください。

[一般社団法人 National Clinical Database \(NCD\) ホームページ \(外部リンク\)](#)

[患者さん向け資料 \(PDF\)](#)